家庭菜園 Q&A

問題解決!

農産部 担い手課 営農主幹
検校 哲也

Q1 ミカンの剪定の時期とポイントを教えてください。

A1 柿のように落葉する果樹は冬に剪定しますが、落葉しないミカンなどの常緑樹は切ってはいけません。冬でも休眠せず弱い日差しの中で春を待っています。

剪定は、暖かくなるころまで待ちましょう。新芽が出る前の3月が適期です。

年中、葉をつけて育っている常緑樹は、太い枝を切ったりすると一度に多くの葉を失うことで弱ってしまいます。強い剪定はひかえてください。一回の剪定で落とす葉の量は、木全体の二割程度にとどめます。

まず、枯れた枝、病気や虫の被害を受けた枝を落とします。同時に、細くて弱々しい枝や下向きに垂れた枝を整理します。実をつけた枝も先を切ります(図1)。

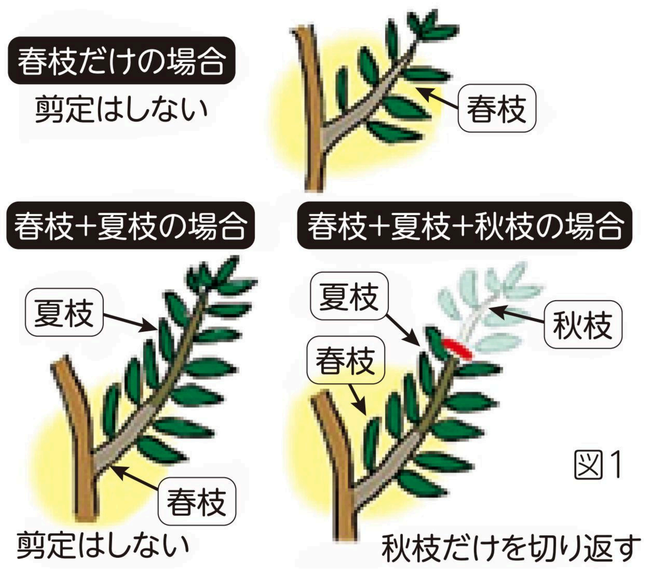

図1

次に、徒長枝(とちょうし)の剪定です。立ち枝、暴れ枝とも言いますが、栄養をひとりじめしようとします。ほかの枝に栄養が行くように元から落とします(図2)。

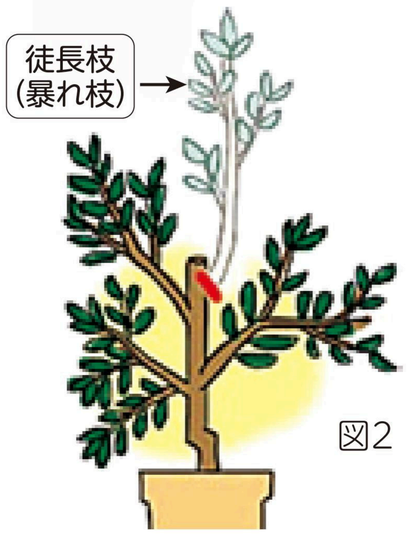

図2

ここまでだいぶスッキリすると思います。5年未満の小さい木なら、これで十分でしょう。

ミカンは前年の秋から冬に花芽ができて、今年伸びた春枝の先に2~3個の花をつけます。春枝はなるべく残すようにします。長く伸びた枝の先、秋枝を切って日当たりをよくします(図3)。

図3

大きくなった木で、まだまだ枝が混んで中まで陽があたりそうになかったら、内向き、逆向き、重なりといった、いらない枝にハサミを入れます。

まんべんなく日光が当たって、風通しが良くなると、気持ちよく木が育って、おいしい実をつけますよ。

Q2 堆肥を入れると微生物が土を良くしてくれると聞きましたが、どんな仕組みでしょうか。

A2 「土は生きている」と言います。土1gには、バクテリア10億個、カビやキノコの菌糸が1・5㎞分も含まれています。目には見えませんが。

土がやせてるか肥えてるかは、土中の微生物に左右されています。微生物は、落ち葉などを食べて腐植や堆肥に作りかえ、植物にチッソやリンなど栄養分を供給してくれます。

微生物の中には、トマトの株腐れやキュウリのつる割れを引き起こすフザリウムといった悪玉菌もいます。悪玉菌と言ってしまいましたが、ふだんは有機物を分解する善玉菌です。

しかし、土壌が加湿になったり酸性に傾いたりすると、微生物の多様なバランスがくずれ、特定の種類の微生物が独り勝ちしたりします。

また、石灰をまいたり土壌消毒をすると、病原菌といっしょに善玉菌も減ってしまいます。病気を発生させないためには、微生物の多様性を確保することが重要です。

多くの微生物が生きるには、たくさんのえさが必要です。そして、えさの種類が多様なほど微生物の種類も多様化します。

たとえば、蟹殻を入れると、たんぱく質を分解する放線菌が増えます。放線菌は酵素や抗生物質を生産し、フザリウムを抑制するといわれます。

牛ふん堆肥を入れると、キノコが出てくることがあります。腐朽菌の仲間で、木質の物を分解します。

植物の内部に侵入し、共生関係を結ぶ微生物もいます。多くの野菜の根にいるのが、菌根菌(きんこんきん)です。糸状菌の一種で、菌糸を伸ばし、地中から水や栄養分を吸収、それを植物に渡し、お返しに糖分をもらっています(図4)。

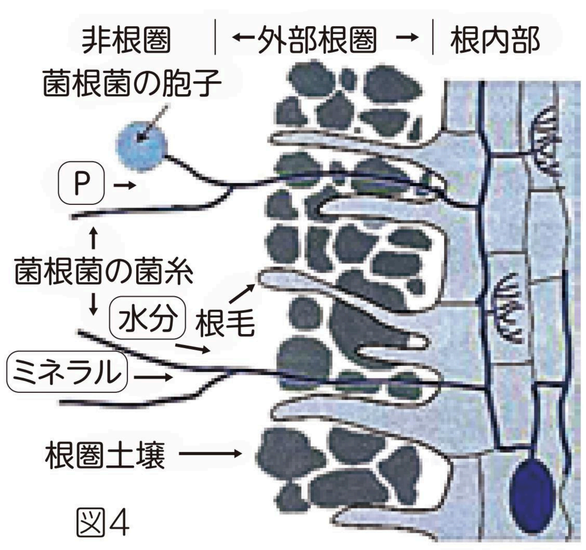

図4

菌根菌は、有機物が多く栄養分の少ない土のほうが野菜の根に定着しやすく、菌根菌が共生した野菜は病気への抵抗力が強くなります。

オンライン農業塾はじめました!
▼動画はコチラ▼

2021 3月の運勢
双子座 5/21~6/21

全体運 気持ちが引き締まりポジティブシンキングに。開拓したいことがあればチャレンジのとき。ただ暴走には注意が必要
健康運 体を鍛える好機。ハードなトレーニングも◎ 幸運を呼ぶ食べ物 ナバナ